

競技注意事項

1.本大会は、2018 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2.練習について

- (1)練習は、競技役員の指示および各チームの監督等の指示のもと、事故防止に十分配慮し行うこと。
- (2)練習会場は本競技場周辺および本競技場バックストレートとし、競技に支障のない範囲で行うこと。
- (3)フィールド種目の練習は招集完了後、役員の指示により実施すること。

3.招集について

- (1)招集方法 競技者(または代理人)が 1 次招集完了時刻までに招集場所にて出場のチェック(○付け)を行うこと(トラック競技出場者は腰ナンバーカードを受け取ること)。出場のチェックを行わなかった競技者は棄権扱いとする。その後、競技者が 2 次招集完了時刻に競技開始場所(現地)にて最終コールを受けることで招集完了とする。
- (2)招集時刻 競技開始時刻を基準とした下表の時刻とする。

	1 次招集完了時刻	2 次招集完了時刻
トラック競技	30 分前	10 分前
フィールド競技	30 分前	15 分前

- (3)リレー競技 競技開始時刻 60 分前までに所定のオーダー用紙に記入し、競技者係(招集場所)に提出すること。
- (4)招集場所 1 次招集:競技場館内 1F ロビー 2 次招集:各種目競技開始場所(現地)

4. オープン参加者(OP)について

オープン参加者(プログラムにオープンと記載)は次ラウンドまたはトップ 8 へ進むことができるが、全日本実業団選手権大会への出場権利は与えない。また、順位はつけない。

5. ナンバーカードについて

- (1)ナンバーカードは、配布された形で胸と背に明瞭に見えるようにつける。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
- (2)トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカード(1 次招集場所で配布)を右腰につけること。競技終了後、腰ナンバーカードを配布場所へ返却すること。

6. 競技について

- (1)トラック競技は全て写真判定装置を使用し、投てき競技はメジャー計測とする。
- (2)トラック競技における予選のレーン順およびフィールド競技の試技順はプログラム掲載の番号順とする。
- (3)決勝の組合せ及びレーン順は、主催者が公正に抽選し決定する。
- (4)タイムによる「+ α 」のある競技種目は、規則第 167 条により決定する。同記録が出た場合は 1000 分の 1 秒単位を考慮して判定し、それでも決められないときは抽選とする。
- (5)走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。
 - ・走高跳 (男)1m70(練習)－75－80－85－90－95－2m00
(女)1m50(練習)－55－60－65－70－75－80
 - ・棒高跳 (男)3m60(練習)－70－80－90－4m00－10－20
(女)2m80(練習)－90－3m00－10－20－30－40※上記以上の高さについては、協議のうえ審判長が決定する。
- (6)三段跳の踏切板は、砂場から男子 11m、女子 8mの地点に設置する。

- (7)男女 5000m、10000m、5000m 競歩においては競技運営上、先頭走者より著しく遅れた者は、審判長の判断により途中競技を中止させることがある。
- (8)競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。また、スターターの合図は英語とする。(「 On your marks 」、「 Set 」。)ただし、小学生種目は日本語の合図とする。

7.競技用器具について

- (1)全天候型トラックにつき、使用するスパイクのピンの長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳、やり投については 12mm 以下とする。
- (2)競技に使用する用具は、すべて競技場備え付けのものを使用すること。ただし、棒高跳用ポールおよび投てき用具は、各人所有のものを検査の上使用することができる。検査後の用具は、主催者預かり扱いとし、投てき用具は全競技者が使用できるものとする。投てき用具の検査は、各競技種目の競技開始 90 分前までに用器具庫において行う。棒高跳用ポールは競技場所において随時検査を行う。

8.抗議、上訴について

- (1)競技の結果または行為に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後 30 分以内(次のラウンドがある場合は15分以内)に行わなければならない。
- (2)競技の結果または行為に関するいかなる抗議も、第一に競技者自身または代理人から審判長に対して口頭でなされなければならない。
- (3)上訴審判員に上告する場合は、審判長によってなされた決定の公式発表から 30 分以内(次のラウンドがある場合は 15 分以内)に、競技者自身または代理人が自書し、担当総務員が署名した文書と、預託金 10,000 円を添えなければならない。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

9.入賞について

各種目、第3位までを入賞とする。第1位には賞状と副賞を、第2位と第3位には賞状を授与するので、該当競技者は大会本部まで受け取りに来ること。

10.その他

- (1)競技者受付は 5 月 19 日(土)11 時より、20 日(日)8 時より、本競技場正面入口階段下にて行う。
- (2)貴重品類は各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。
- (3)競技者の負傷、疾病については応急処置以外の責は負わない。
- (4)競技場の環境美化に協力すること。各自が出したゴミ等は持ち帰ること。
- (5)本大会の第3位までの入賞者および別に定める標準記録到達者は、2018年9月21日(金)~23日(日)開催の全日本実業団選手権大会(大阪府大阪市)に出場することができる。ただしオープン参加の場合は、その権利を有しない。
- (6)本大会入賞者の中から若干名を海外に派遣、および7月21日(土)開催の実業団学生対抗(神奈川県平塚市)へ実業団選抜選手として派遣する。
- (7)ジュニアアスリート記録会の走幅跳の試技回数は、2回までとする。